

第39回 由利本荘市行政改革推進委員会

開催日時 令和7年11月7日（金）午後3時30分～午後5時00分

開催場所 由利本荘市役所 5階 第5会議室

出席委員（敬称略）

委 員 西 田 哲 也（公立大学法人秋田県立大学 システム科学技術学部 学部長）
委 員 三 浦 カズ子（秋田しんせい農業協同組合 理事）
委 員 土 田 寛 史（一般社団法人由利本荘青年会議所 理事長）
委 員 山 口 恭 正（由利本荘市社会福祉協議会 総務課長）
委 員 伊 藤 純 二（公募委員）

市出席者及び事務局

総務部長 高橋重保
総務部行政改革推進課課長 佐藤夏樹
総務部行政改革推進課参事 森大樹
総務部行政改革推進課班長 鈴木顕
総務部行政改革推進課主査 渡部慧

※「1. 開会」から「2. 委員長あいさつ」までは事務局が進行。「3. 案件」以降は委員長が進行。

1. 開会

2. 委員長あいさつ

- ・西田委員長よりあいさつ

3. 案件

（1）第5次行政改革大綱（見込み）について「資料1」

- ・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

（質問）大綱の内容に沿っているかは不明だが、市の観光資源（おもちゃ館や赤田の大仏、天寿など）を活用した集客施策をもっと取り入れるようにしてもらいたいと思う。

（回答）いただいたご指摘は行政改革大綱の取組に沿ったご指摘であり、観光振興課や地域づくり推進課が所管である。由利高原鉄道の役割として、観光の側面もある。市や観光協会が行っているイベントの中でも木のおもちゃ館や由利高原鉄道について利用してもらえるようPRしていく。現在も観光資源のPRは行っており、今後も強化予定。観光協会の法人化も進めており、より力を入れていく方針。

（質問）実施計画について、管理番号31「政策経費の選択と集中による重点化」に関連して、廃止予定の事業にはどのようなものがあるか？

（回答）現在、役割を終えた事務の廃止について検討中だが、実際には廃止すべき事務はそれほど多くない。

（質問）実施計画の管理番号18「本庁、総合支所、出張所の機能及び職員配置の適正化」について、支所の人員削減により、地域が寂れてしまうのではないかという懸念がある。配置される職員が少なくなると、案内不足が生じるのではないかと不安を感じている。

（回答）支所の事務事業は本庁に集約するが、窓口機能は強化し、住民対応はこれまでどおり継続する。また、地元出身の再任用職員を重点配置し親しみやすい体制も構築する予定で、移動市役所やリモート相談、キオスク端末の活用で利便性も向上させていく。災害時には地域指定支援制度

を活用し、迅速な対応を確保するよう訓練も実施している。

(質問) 窓口時間の短縮について、現金を取り扱わない相談業務は短縮された時間も受付できるのか？

(回答) 現金取扱窓口は 16:30 で終了予定だが、相談業務は継続して受付可能である。証明書に関して 16:30 以降でもコンビニやキオスク端末で証明書の取得が可能。3月や4月の混雑時には窓口時間の延長も実施予定。

(質問) コンビニやキオスク端末はとても便利であったが、電子マネーは使えるか？

(回答) コンビニでは使えるが、キオスク端末では電子マネーは使えない。

(質問) 人員を集約することによって本庁舎の人員が増えると思うがスペースはあるのか？

(回答) 隣の行政センターや空いているスペースを有効活用する予定である。

(質問) 総合支所の人数が少なくなることによって光熱水費を削減できた方がいいと思う。そのあたりも考えていただければ良いと思う

(回答) 例えば、壁を設置したり、人をまとめて照明の位置を工夫したりするなどして光熱水費の節減に努めたいと思っている。

(質問) 照明の LED 化など、光熱水費を節減する項目は入っているか？

(回答) 総務課やエネルギー政策課で既に進めている。

4. その他

事務局より

○本庁・総合支所における事務・事業の見直しについて資料をもとに事務局より説明

○次回の会について

次回は3月頃を予定しており、第4次大綱の進捗状況と第5次大綱について報告予定

5. 閉会